Ⅳ　農作物の部

解　　説

この部には、「作付面積調査」、「作況調査」、「被害調査」及び「特定農作物統計調査」による作付面積、10a当たり収量、収穫量及び農作物の被害など、農作物の生産に関する統計を収録した。

調査の概要

1　作付面積調査及び作況調査、特定作物統計調査

(1)　調査の目的

調査は、農作物の生産に関する実態を明らかにし、「食料・農業・農村基本法」に基づく食料・農業・農村基本計画において策定された食料自給率や生産数量目標の達成に向けた各種施策の推進、「主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律」に基づく需要見通し等の策定、「農業災害補償法」に基づく共済事業の適正な運営などの農政の資料を整備することを目的としている。

(2)　調査方法

ア　水稲・麦類・かんしょ・豆類及び飼肥料作物

(ｱ)　作付面積

水稲については、標本単位区に対する職員及び統計調査員による実測調査並びに職員による巡回・見積り及び情報収集する方法により行った。

水稲以外については、関係団体及び標本経営体に対する往復郵送調査、職員による巡回・情報収集する方法により行った。

(ｲ)　収穫量

水稲については、作況標本筆、作況基準筆及び被害調査筆に対する職員による実測調査並びに作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより行った。

水稲以外については、関係団体及び標本経営体に対する往復郵送調査並びに職員による巡回・情報収集により行った。

イ　野菜・果樹

(ｱ)　作付（結果樹）面積

関係団体に対する往復郵送調査並びに職員による巡回・見積り及び情報収集により行った。

(ｲ)　収穫量

関係団体及び標本経営体に対する往復郵送調査並びに職員による巡回・情報収集により行った。

ウ　茶・花き

茶は荒茶工場、花きは出荷金額が5,000万円以上の集出荷団体及び販売金額が2,000万円以上個人出荷者に対する往復郵送調査並びに職員による巡回・見積り及び情報収集により行った。

エ　被害及び被害量

水稲は、被害標本筆（作況標本筆併用）の見積り、作況基準筆調査及び巡回・見積り及び情報収集により作成した。

なお、特異な被害については被害調査筆を設置し、実測調査を行い作成している。

(3)　市町村別統計の作成

市町村別統計は、「作物統計調査」を実施する上で把握した地域における標本調査及び現地見積りの結果、関係機関からの情報等をもとに都道府県計値の内訳として市町村別に作成した加工統計であり、作成する上で精度を設定しているものではない。

なお、「作物統計調査」は都道府県計値を求めるために設計されている。

(4)　調査対象県（主産地）

別表－１に掲載した品目については、作付面積等をもとに調査対象県（主産県）を設定し調査（主産県調査）を実施している。主産県調査の品目における統計表の関東・東山及び関東農政局の収穫量は主産県の計であり、（　）で標記している。

なお、普通作物の全国値は、主産県調査結果と主産県以外の推計値の計である。

２　定　義

作付面積	非永年性作物をは種又は植え付けし、発芽又は定着した作物の利用面積を作付面積とする。 温室・ハウスなど施設に作付けした場合は、作物の栽培に直接必要な作物間の通路などの空間地を含めた作物の利用面積である。 花きは、販売用として栽培されている利用面積である。したがって、自家用として庭園内などで栽培されているもの、又は公園などで観賞用に植え付けられているものの面積は含まない。 また、鉢ものについては、鉢の占有した面積である。
栽培面積	永年作物（宿根性の多年生作物を含む）の栽培されている面積をいい、集団・散在にかかわらず、その利用面積である。
結果樹面積	農家が当該年産の収穫を意図して結果させた（結果させる予定のものも含む）面積である。
摘採面積	栽培面積のうち収穫を目的として摘採した実面積である。
収穫量	栽培したものを収穫、収納したもののうち、一定の基準（品質・規格）以上のものの量をいう。野菜の場合、収穫量の計量形態は出荷の形態と同一とした。
10a当たり収量	実際に収穫された10a当たりの収量をいう。これには、「作付面積10a当たりの収量」と「収穫（結果樹）面積10a当たりの収量」の二通りがあるが、「作物統計」では果樹、茶、こんにゃく、さとうきび等を除き、前者により表示している。
作物年産区分	作付面積、収穫量の年産区分は暦年とし、収穫年次により区分する。 収穫年次は、作付年次のいかんを問わず、収穫した年（通常は収穫最盛期の属する年）をもってその年の作物の作付面積、収穫量とする。 また、作業・販売などの都合により、収穫が翌年に持ち越されても、翌年扱いとはしない。 なお、野菜の年産区分は原則として、春、夏、秋、冬の４季節区分（収穫出荷時期区分）を１年産として取り扱うこととし、この基準に合わない品目については、主な作型と主たる出荷期間により年産を区分した。
野菜の季節区分	品目別に分類した年産区分を産地・作型を考慮し、主たる出荷期間により季節区分を設定した。 また、野菜の品目別年産区分・季節区分は別表－２のとおり定めている。
出荷量	収穫量から生産者の自家消費、生産物を贈与した量、収穫後の減耗等を差し引いた重量をいう（種子用、飼料用として販売したものは含まない）。 また、花きについては、収穫されたもののうち販売に供されたものの量をいい、育成中の球根及び苗類は含まない。
作付(栽培)延べ面積	稲、麦類、かんしょ、雑穀、豆類、野菜、果樹、工芸農作物、飼肥料作物及びその他作物別にみた作付(栽培)面積の合計をいう。
耕地利用率	耕地面積に対する作付(栽培)延べ面積の割合のことをいう。
被害	ほ場において栽培を開始してから収納するまでの間に気象的、生物的、その他何らかの原因で、農産物に損傷を生じ減少した状態をいう。したがって、損傷があっても減収が認められないものは、これを被害とみなさない。
被害面積	被害が発生したほ場の面積とし、とりまとめは被害種類別に行う。被害面積は、被害種類別に面積を合計した。したがって同一ほ場に２種類以上の被害が発生した場合は重複して計上した。
被害量	農作物の栽培が開始され収納されるまでの期間に、被害により減収した量である。

別表－１

平成23年産普通作物等の主産県一覧表（関東）

区分		埼玉	茨城	栃木	群馬	千葉	東京	神奈川	山梨	長野	静岡
かんしょ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
茶		○	○	－	－	－	－	－	－	－	○
飼料作物	牧草	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	青刈りとうもろこし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ソルゴー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特定作物	小豆	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	いんげん	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	らっかせい	－	○	－	－	○	－	－	－	－	－
	こんにゃくいも	－	－	○	○	－	－	－	－	－	－
果樹	みかん	－	－	－	－	○	－	○	－	－	○
	りんご	－	－	－	○	－	－	－	○	○	－
	日本なし	○	○	○	○	○	○	○	－	○	－
	西洋なし	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－
	かき	－	－	－	－	－	－	－	○	○	－
	びわ	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－
	もも	－	－	－	－	－	－	－	○	○	－
	すもも	－	－	－	－	－	－	－	○	○	－
	うめ	－	－	－	○	－	－	○	－	－	－
	ぶどう	○	－	○	○	－	－	－	○	○	－
	くり	○	○	○	－	○	○	○	－	○	－
	キウイフルーツ	－	－	○	－	－	－	○	○	－	○

別表－２

品目別年産区分・季節区分一覧表

品目別	季節区分	主たる収穫・出荷期間	品目別	季節区分	主たる収穫・出荷期間
だいこん		本年 4月～翌年 3月	ブロッコリー		本年 4月～翌年 3月
	春	4月～ 6月	レタス		本年 4月～翌年 3月
	夏	7月～ 9月		春	4月～ 5月
	秋 冬	10月～ 3月		夏 秋	6月～ 10月
かぶ		前年 9月～本年 8月		冬	11月～ 3月
にんじん		本年 4月～翌年 3月	ねぎ		本年 4月～翌年 3月
	春 夏	4月～ 7月		春	4月～ 6月
	秋	8月～ 10月		夏	7月～ 9月
	冬	11月～ 3月		秋 冬	10月～ 3月
ごぼう		本年 4月～翌年 3月	にら		本年 1月～本年12月
れんこん		本年 4月～翌年 3月	たまねぎ		本年 4月～翌年 3月
ばれいしょ		本年 4月～翌年 3月	にんにく		本年 1月～本年12月
（じゃがいも）	春植え	4月～ 8月	きゅうり		前年12月～本年11月
	秋植え	11月～ 3月		冬 春	12月～ 6月
さといも		本年 4月～翌年 3月		夏 秋	7月～ 11月
やまのいも		本年 4月～翌年 3月	かぼちゃ		本年 1月～本年12月
はくさい		本年 4月～翌年 3月	なす		前年12月～本年11月
	春	4月～ 6月		冬 春	12月～ 6月
	夏	7月～ 9月		夏 秋	7月～ 11月
	秋 冬	10月～ 3月	トマト		前年12月～本年11月
こまつな		本年 1月～本年12月		冬 春	12月～ 6月
キャベツ		本年 4月～翌年 3月		夏 秋	7月～ 11月
	春	4月～ 6月	ピーマン		前年11月～本年10月
	夏 秋	7月～ 10月		冬 春	11月～ 5月
	冬	11月～ 3月		夏 秋	6月～ 10月
ちんげんさい		本年 1月～本年12月	スイートコーン		本年 1月～本年12月
ほうれんそう		本年 4月～翌年 3月	さやいんげん		本年 1月～本年12月
ふき		本年 1月～本年12月	さやえんどう		前年 9月～本年 8月
みつば		本年 1月～本年12月	そらまめ		本年 1月～本年12月
しゅんぎく		本年 1月～本年12月	えだまめ		本年 1月～本年12月
みずな		本年 1月～本年12月	しょうが		本年 4月～翌年 3月
セルリー		本年 1月～本年12月	いちご		前年10月～本年 9月
アスパラガス		本年 1月～本年12月	メロン		本年 1月～本年12月
カリフラワー		本年 4月～翌年 3月	すいか		本年 1月～本年12月